

令和5年6月30日

松商野球部OB会報



一球入魂

Vol.9

硬式野球部創部110周年記念号



「いっあいさっ」

松商野球部OB会 会長
召田 三博

松商野球部OB会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃はOB会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

松商野球部は今年で創部110周年を迎えました。これまでに甲子園出場は夏の甲子園37回（優勝1・準優勝1）、春の甲子園16回（準優勝2）。また北信越大会の出場は春季大会19回（優勝4・準優勝4）、秋季大会34回（優勝5・準優勝3）と成果を積み重ねてきました。この実績も松商学園の建学の理念である「自主独立」を目的に部活動を通じて人格の形成に尽力された歴代監督、部長先生の功績にあります。これからは松宗監督が目指す「心の野球」で継承されていくこととなります。私にとつての「心の野球」は思いやる心、本気の心、礼を尽くす心、ルールを守る心、等々が思い浮かびます。部員一人一人の心を育み、皆の心を一つにして力を発揮されることを期待しています。

昨年の8月から就任された松宗監督の球歴をご紹介します。松商野球部で中原元監督の指導を受け順天堂大学に進学、在学の3年4年生時に順天堂大学野球部の監督を務められました。卒業後は松商野球部で小尾元監督、足立前監督の下でコーチを務められ、その間に副部長、部長としての役割も担われてきました。

昨年監督就任後、初の大会で長野県大会優勝校として北信越秋季大会の準決勝戦に挑みましたが、惜しくも甲子園目前で敦賀気比に阻まれました。今年の春の大会は中信地区予選2回戦で敗退、トーナメント制の厳しさを味わいました。夏はこの悔しさをバネに甲子園出場を果たし、甲子園で校歌が聞けることを切に願っています。

この度OB会はバッティングゲージ一式を創部110周年記念として寄贈しました。選手の激励を兼ねて母校のグラウンドに是非足を運んでいただければ幸いです。

終わりに皆様のご健康、ご多幸を祈念して挨拶とさせていただきます。

「心の野球」

松商学園高等学校硬式野球部 監督
松宗 勝

日頃より硬式野球部に対し、温かいご支援ご声援を賜り、深く感謝申し上げます。昨年8月より監督を務めさせていただいております松宗と申します。OBの皆様の期待に応えることができるように一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

硬式野球部では選手・スタッフが力を合わせて応援されるチームになるために「心の野球」を追求しています。上手いかわいときや思い通りにならない時に誰かのせいにして環境のせいにしてたりすることなく、矢印を自分の心に向けてまず自分に何ができるのかを考えることを大切にしています。技術や体力の向上の前に心の部分、取り組み姿勢を大切に考え、グラウンドだけでなく、学校生活、私生活でも応援されるような行動を心掛けています。その心の部分が成長することによってどんな試合展開でも心がぶれることなく戦い抜くことができ、野球人としても、一人の人間としても大きく成長できると考えています。選手はグラウンドで必死に頑張っている、OBの皆様にはグラウンドに是非来ていただき、激励をしていただければ大変うれしく思います。

新入部員28名が加わり、選手総勢84名となり、創部110周年の記念の年に新たな一歩をスタートしました。本年は声だし応援が可能となるなど、コロナ前の姿に戻りつつあります。是非、球場に足を運んでいただき、『松商ファミリ』として、スタンド、選手が心を一つに戦っていければと思っています。皆様からの大きな声援が選手の大きな力になります。ご期待に応えられるよう選手、スタッフは日々努力を積み重ねて、一球を大切に戦ってまいりますので、今後もご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「挨拶」

松商学園高等学校硬式野球部 部長

小林 真史



平素よりOB会の皆様におかれましては、硬式野球部の活動に際しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、過日行われました創部110周年記念招待試合におかれましては、ご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

ご存じのように昨年の夏より新体制となり、松宗監督のもと、選手たちは新しいスタートを切っております。新入生は28名が入部し、総勢84名となった今年度のチームは、「覚悟」王者奪還、その先にある頂きへ」をスローガンに今夏の甲子園出場と全国制覇を目指し、日々練習に励んでおります。どうか温かく見守るとともに、熱いご声援をよろしくお願い致します。

さて、新型コロナウイルスが5類感染症となり、様々な規制が解除されることとなりました。思い返せば2020年の1月に日本で最初の感染が確認され、その後爆発的に感染が拡大し、日本だけでなく世界全体が大きな不安と混乱に包まれました。収束するのに3年ほどかかると言われていた当時、「まさかそんなに時間がかかるはずがない」と楽観視していましたが、実際に今日に至るまで約3年4か月という長く重い月日が流れてしまいました。この間、私がここで語るまでもなく、相次ぐ大会や試合の中止・延期、日々の練習や行動の制限など、子供たちを取り巻く環境は激変しました。その失意や落胆はいかばかりであったか、はかり知れません。

しかし、新型コロナウイルスが消えたわけではなく、新しい環境が戻ってきました。先だって行われた中信大会では、久しぶりに発声による応援が解禁され、迫力ある試合の雰囲気を感じることができました。選手たちは今まで溜めていた様々な感情を爆発させ、夏の勝利を手に入れてくれると信じています。私たちもそれを後押しできるよう頑張る所存でございます。

今年の暑い夏、陽炎の揺れる甲子園球場で、松商健児たちの奮起する姿がきつと見られるでしょう。ご期待ください。

「夏の大会の抱負」

松商学園高等学校硬式野球部 主将

前田 優空



創部110周年記念招待試合で仙台育英学園高校と試合をさせていただきました。「甲子園出場」「日本一」を経験した仙台育英学園高校の選手の皆さんから、グラウンド上の姿だけでなく話の聞き方など学ぶことが多くありました。開催するにあたり様々な形で支えてくださった関係者の皆様へ、選手一同感謝申し上げます。この感謝の気持ちをグラウンドでの「全力疾走」「全力プレー」で現していき、勝つことで恩返ししていきたいと思っています。

私たちは新チームがスタートすると同時に監督が代わり、「心の野球」をテーマに「全力疾走」そして「良い雰囲気」でやることを軸として「応援されるチーム」を目指して取り組んできました。昨秋の北信越大会準決勝で敦賀気比高校と戦い、あと一勝でセンバツ出場という所で敗北、そして今春の中信大会、一打同点、一打サヨナラという所で敗北してしまいました。勝つことの難しさを思い知りました。この負けを無駄にしないよう、チーム全体でミーティングをしました。そして3年生を中心に、今、自分たちに何が足りないか？今後どうしていくべきか？を話し合うことができ、個人として、チームとして夏までにやるべきことが明確になりました。グラウンド外での姿、凡事の徹底力、このことをチーム全体として夏に向け、レベルアップしていきたいと思っています。

3年生にとっては最後の夏です。この11年も続いている伝統ある松商学園のユニフォームを着て戦うというプライドを持ち、強い松商学園をもう一度皆様に届けたいです。ノーシードの戦いとなり厳しい戦いになると思いますが、グラウンド、ベンチ、そしてスタンドにいる部員84人の「心」を一つにして戦い抜きます。保護者の皆様、そしてOB会の皆様と共に戦っていききたいと思います。今後とも応援よろしくお願ひします。

「夏の大会の抱負」

松商学園高等学校硬式野球部 チーフマネージャー

岩下 一磨



松商学園高校硬式野球部は今年で創部110周年を迎えました。これを記念して行われた招待試合では、日本一のレベル、全国のレベルを肌で感じる事ができました。

このような機会を用意してくださった関係者の皆さま、試合の観戦のために球場に足を運んでくださった皆さまへ、心より感謝申し上げます。

創部110周年という節目の年である今年のチームは、「覚悟」王者奪還、その先にある頂へ」というスローガンを掲げ、昨秋から今日まで活動を続けてきました。

また、松宗監督が大切にしている「心の野球」を部員全員で共通理解し、皆さまに応援していただけるチーム、試合を観に来て良かったと思っただけのチームを目指し、野球だけではなく、挨拶や環境整備、学校生活の見直しなどを重点的に行い、隙のないチームを創り上げてきました。

思い返せば、昨秋の北信越大会。春のセンバツ大会への切符を手にする、あと一歩の試合での敗北。そして今春行われた中信地区大会では、あと1点での敗戦。秋、そして春と、勝つことの難しさ、あと1点、あと1歩の重みを改めて感じる事ができました。

「最後の夏」この言葉の重圧が、夏の大会を目前にして急にのしかかってきたように感じます。今まで支えてくださった皆さま、試合の観戦のために球場まで足を運んでくださった皆さまに勇気を与え、感謝を伝えられるよう、全身全霊で戦い抜きたいと思っています。

グラウンド、ベンチ、そしてスタンドにいる部員84名で「覚悟」を決めて創り上げる「心の野球」を皆さまにお届けし、強い松商学園硬式野球部を、もう一度築き上げていきたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

太田 泰樂	市村 創多	森田 快翔	宮島 巧成	丸茂 優基	小林 嶺太	小林 智	岡本 悠跳	石井 俊平	真道 航至
森田 隼翔	須藤 楓馬	木内 栞晴	笠原 隼平	板花 玲	羽生田 凱希	土屋 憂碧	竹内 琉之介	小林 伸伍	加藤 高慎
		丸山 琉弥	穂高 明人	井口 奏斗	横内 史温	花村 史温	太田 颯士	関 駿太	山岡 慶斗

総勢 84 名

上條 央晴	伊藤 央祐	山本 一翔	丸山 慧也	忠地 拓巳	高林 将土	金子 大樹	伊藤 悠成	長瀬 叶大	浅川 登偉
漆戸 琉晟	原田 晃大	田中 仁琥	多田 開翔	櫻井 直道	伊東 大和	羽生田 流夷	田中 享成	清水 優太	小林 真衣人
	笹岡 優樹	三好 徹	新井 文理	山本 優太郎	保高 周大	田村 将大	忠地 頼泰	唐澤 伊織	大月 柊芽

山岸 建斗	前田 優空	竹内 海翔	鈴木 湧陽	齋藤 新太	磯貝 治郎	百瀬 拓海	上條 大河	北原 郁未	内川 大暉
宮田 慎之助	保倉 悠弥	矢口 恩	鈴木 太耀	笠原 蓮	大塚 舜生	長澤 蒼空	小林 柊斗	金井 悠真	市川 蔵人
			青柳 勇輝	滝沢 昂大	小口 匠真	塩原 一磨	籠田 渉	岩下 陽大	青柳 陽大

選手一覧

部員心得

松商学園高等学校硬式野球部
平成二十六年三月二十日作成

- 一 野球選手である前に松商学園生徒であれ
- 一 礼儀は和の基である
- 一 常に松商野球部という和であることを忘れるな
- 一 常に謙虚であれ
- 一 態度・言語は正直・明快であれ
- 一 清楚な美は心から生まれる
- 一 我慢は自分のためである
- 一 健康管理に細心の注意を怠るな
- 一 常に反省したならば失敗は少ない
- 一 成長の場に立つ以上闘志を持ち続けよう
- 一 逃げ道をつくるな
- 一 本気で努力・研究することは成功への道
- 一 確固たる信念を持て
- 一 自立心を養え
- 一 けじめをつけよう
- 一 凡時徹底を怠るな
- 一 用具を大切にすることは精進の表れ
- 一 上級生は下級生が決め
- 一 下級生は上級生が決める
- 一 野球は社会に通じることを忘れるな
- 一 全てのことにあるがどう

部長	小林 真史
監督	松宗 勝
顧問	金井 洋貴
コーチ	清水 克海
コーチ	松本 匡礼
コーチ	松山 直弘
トレーナー	青木 啓成
トレーナー	関 賢一

指導者名簿

誓詞

今日一日怒らず、怖れず、悲しまず、正直、親切、愉快に、
力と勇気と信念とをもって自己に課せられたる
責務を果たし、松商ナインの誇りをもって、立派な野球人として生きることが
自分自身の敵となる誓いとする。

大会結果2022・2023

第104回全国高等学校野球選手権長野県大会
松商学園 3-6 長野日大 2回戦
令和4年7月12日▼13日
(7月12日(火)からの継続試合)

第147回北信越地区高等学校野球長野県大会
松商学園 11-1 田川 一次戦(6回コールド)
松商学園 13-3 梓川 二次戦 1回戦
8月19日▼9月11日
中信予選会

第147回北信越地区高等学校野球長野県大会
松商学園 8-1 ウェルネス長野代表決定戦
(8回コールド)
松商学園 13-1 松本国際 準決勝(5回コールド)
松商学園 7-6 松本第一 決勝(9回サヨナラ)
9月25日▼12月2日

第147回北信越地区高等学校野球大会
松商学園 8-1 長野俊英 2回戦(8回コールド)
松商学園 11-2 長野日大 準々決勝(7回コールド)
松商学園 7-2 松本国際 準決勝
松商学園 11-1 佐久長聖 決勝
10月15日▼22日

第148回北信越地区高等学校野球長野県大会
松商学園 5-4 日本文理 1回戦(9回サヨナラ)
松商学園 7-2 氷見 準々決勝
松商学園 0-3 敦賀気比 準決勝
令和5年4月29日▼5月2日
中信予選会

松商学園 9-0 大町岳陽 1回戦(7回コールド)
松商学園 3-4 ウェルネス長野代表決定戦

◆令和4年度OB会費納入者一覧◆

矢沢 一義	古田 元秀	民谷 邦明	高木 一男	小口 格	小野 芳治	白沢 雄一	松村 季美	戸谷 正一	林 直司	大月 敬三	茂木 啓司	福岡 進	降旗 勲	甘利 憲治	齋藤 渡	角谷 征治	長島 惇	大月 健生	花里 義人	古畑 稔	高根 基	丸谷 義一	丸山 洋五	宮下 貴光	三澤今朝治	大月 吉史	末岡 幹也	高山 一栄	大澤 好伯	◎54回卒				
◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒	◎67回卒			
小尾 淳美	川島 正幸	中原 俊夫	高木 秀一	飯下 清敏	宮下 敏彦	中澤 一雄	笠原 彦二	宮澤 伸	萩原 光雄	太田 浩行	横山 正志	佐々木 一郎	召田 三博	杉村 光太郎	飯沼 光永	篠田 泉	篠田 博文	飯田 晋一	柴山 晋一	藤村 宏志	上條 一雄	上條 勝	柴山 良一	金澤 悦司	水谷 公晴	木藤 利光	三村 誠司	西澤 晴夫	宮下 秀明	藤原 誠	宮川 昇	松澤 三郎	◎68回卒	
◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	◎77回卒	
林 幸樹	丸山 竜利	丸山 徹	大月 弘士	西澤 猛彦	清水 克海	飯島 泰臣	赤羽 勝巳	塩原 恒夫	野村 仁己	小門 秀章	酒井 重俊	清水 崇秀	伊藤 昌志	足立 寿彦	手塚 雅章	西村 浩史	松沢 浩史	本郷 剛史	降旗 毅	小林 永政	赤廣 和彦	牛丸 和昭	萩原 和昭	宮下 秀保	高橋 昭二	長瀬 雅彦	茅野 幸則	宮下 裕司	池野 浩幸	竹内 司	百瀬 研吉	田中 靖典	上條 淳司	
◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	◎83回卒	
本木 照学	雨宮 清隆	大沢 功一	下村 誠	濱村 重樹	青柳 良一	山崎 宣明	堤村 貴史	辻 昭夫	中島 巧	高橋 佳範	上田 忠	花岡 貴士	林邊 晃一郎	渡邊 悦郎	青木 崇	内藤 学	二村 武	加藤 克利	宮下 有也	二井 義達	吉本 篤宏	山口 卓哉	小口 大輔	井上 潔	吉崎 万也	輪湖 源和	濱口 浩行	谷口 光治	滝澤 修	新井 雅充	◎84回卒	◎84回卒		
◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	◎92回卒	
竹内 直	前島 秀俊	中村 太一	含井シツケ平	福田 佑	大墨 岳人	小林 泰智	桃井 亮介	今井 信也	龍口 恵介	塚原 啓介	友永 大地	濱 佳弘	有賀 亮	橋詰 孝	栗原 正健	小澤 成徳	呉本 裕太	森村 裕太	松宗 裕太	竹内 純平	瀧澤 良和	上野 孝一	網野 俊輔	武井 伸親	柏原 誠	永田 智幸	林部 直明	山田 誠	福嶋 義明	鈴木 秀信	富田 全治	深澤 友和	小野 和彦	◎93回卒
◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒	◎103回卒
丸下 将悟	松茂 将悟	高橋 優太	伊藤 裕太	新倉 健太	波多 俊充	酒野 弘伸	岡本 伸	川上 郁也	岡本 翔太	相河 直弘	松山 達哉	吉崎 誠	島崎 誠	武田 大	池田 俊	有川 達信	古澤 久晃	中村 勇紀	塩原 裕樹	井領 翔馬	川口 圭大	丸山 慎介	上條 大貴	関谷 将宏	宮下 翔斗	長岡 史憲	深江 真登	遠山 裕太	松本 匡礼	中崎 学	熊谷 学	◎104回卒		
◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	◎116回卒	
(入会金含む)																																		

松商野球部OB会「支援部」引き継ぎ報告とお願い

松商野球部OB会 支援部委員長 深澤 友和 (93回)

昨年、足立修監督から松宗勝監督へと新体制に変わり支援部役員も新体制となりました。前任の伊藤昌志委員長より引き継ぐこととなりました、93回卒の深澤友和と申します。また、新たな役員は網野俊輔 (95回) と小野秀樹 (95回) を副委員長としてお願いしました。ともに松宗監督を支えていきたいと思っています。初めて担当する業務であり、不慣れで至らないところがあるかと存じますが、いち早くお役に立てるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になりました。活動の範囲も広げられると期待しています。まずは若手OB会員が長野県内はもちろんの事全国各地で様々な立場で活躍しています。松商野球部OB会のネットワークを活かして選手の獲得、進路の充実を図りたいと考えています。

前任の伊藤委員長が課題として掲げていた【継続性】をもって、支援部を更なる支援体制強化のため活動して参ります。引き続き可能な限りでのご支援をお願い申し上げます

1. 同封の払込取扱票で振込み

郵便局(ゆうちょ銀行)に出向いていただき、振替口座へ振込みをお願いします。(手数料OB会負担)

2. 郵便局以外の金融機関からOB会口座へ振込み

金融機関(松本信用金庫・八十二銀行)へ出向いていただき振込みするか、ご自分のインターネットバンキングを利用しての振り込みも可能です。(手数料はご負担願います)

①松本信用金庫

金融機関コード: 1391

店番号: 019 二子支店

預金種目: 普通

口座番号: 01110925

受取人名義: 松商野球部OB会

カナ氏名(受取人): マツショウヤキウブOBカイ

②八十二銀行

金融機関コード: 0143

店番号: 414 深志支店

預金種目: 普通

口座番号: 0631985

受取人名義: 松商野球部OB会

カナ氏名(受取人): マツショウヤキウブOBカイ

注1) 松商野球部OB会費納入方法

同封の「払込取扱票」により郵便局で納入(振込手数料は不要ですが、2022年1月17日から、窓口・ATMでの「現金」によるお支払いについては、1件ごとに料金110円が加算されます。「ゆうちょ銀行の通帳またはキャッシュカード」を利用し口座からお支払いされる場合は加算料金のご負担はございません。と変更になっておりますので何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

注2) 振込みの場合は、卒業年数もしくは、卒業回数をご記入下さい。また年会費は5,000円以上とし、前年度未納者も併せてお願い致します。

松商野球部OB会費納入のお願い

永遠の高校球児たちへ。

マスターズ甲子園



コロナ禍の中、関係者のご協力によりマスターズ甲子園2022長野県大会は43校が参加して開催された。松商野球部OB会は中信予選ラウンドを1位で突破し、連覇を目指し決勝トーナメントに挑みました。1回戦飯田OID E長姫OBに8対7で勝ち、準決勝対佐久長聖OBに惜しくも3対6で敗れました。しかし、昨年度は20代で初参加の選手も増え本来の目的でもある若手会員のOB会への参加また今後活躍も期待した大会でありました。

マスターズ甲子園監督 深澤 友和

マスターズ甲子園2022
長野県大会及び本大会

マスターズ甲子園の本大会は長野県として3度目の出場です、今回県選抜チームは優勝した佐久長聖を中心にして、前回2018年に25校で編成した選抜チーム以降の新たな加盟20校からも優先的に選抜編成。聖地甲子園の感動を持ち帰り子供たちに野球の魅力を伝えることや、各校OB会の活性化による現役強化を目的としており、ほぼすべての加盟校で最低1名はマスターズ甲子園を経験することができた。長野県選抜ベンチ入り48名のうち、松商野球部OB会からは、選抜チームの監督補助として前島秀俊(103回)、選手として中村太一(103回)が選出されました。

本大会では、前夜祭・入場行進・開会式・決起大会などによりチームワークを醸成し、大会2日目に和歌山県代表日高中津高校OBと対戦。6対7で惜敗したが、目標通り土屋道成監督(佐久長聖OB)以下ベンチ入り48名(20歳から69歳)全員が出場しました。中でも、2回裏一塁代走として出場した長野高校OGの林野星選手が飯田OID E長姫の熊谷蓮哉選手の3塁打で一挙ホームイン。マスターズ甲子園19年の歴史の中で、女子選手のホームインは初めてとされる快挙。聖地甲子園で涙を流す選手も目立ち、一生の思い出となる素晴らしい大会にすることができました。

野球人口減少という直面する課題の中今後、選手たちの野球への恩返しや、出身校を超えたネットワークと連携により子供たちへ野球の素晴らしさを伝承することを期待したいと思います。



『塙上重来』

松商学園硬式野球部創部110周年記念として、OB会より「バッティングゲージ一式」を贈る。

6月11日 あいにくの雨降り、室内練習場にて贈呈式が行われた。松宗勝監督、部員84名、チームスタッフ、多数のOBが見守る中、召田三博OB会会長より小林真史部長へ、「バッティングゲージ一式」の目録が贈られた。

5月下旬より使われており、シールド権無く1回戦から臨む夏の大会への強力な後押しとなる事を願う。



「心の野球を目指し、応援されるチームになれるように、残された日々を全力で走りぬきます。OBの皆様、是非グラウンドに球場にお越しく下さい。」

(松宗 勝監督)

「これで事故の心配もなく、軽量で設置も楽になり練習の効率もアップしました。これから公式戦12連勝します。OB会の皆様ありがとうございます。」

(前田 優空主将)

新たな歴史を作れ、
輝け！ 松商健児！

(今回の購入資金はOBお一人お一人の浄財より賄われております。今後共のご支援ご協力宜しくお願い致します。)

(文責 太田 浩行)



記念招待試合」

OB 会副幹事長 小口 卓哉

球場関係者、選手による懸命なグラウンド整備によって招待試合を実施することができました。



令和5年4月15日（土）、仙台育英学園高等学校（宮城県）を迎え、セキスイハイム松本スタジアム（松本市野球場）において母校野球部の創部110周年記念招待試合が行われた。仙台育英学園高等学校は御存知の通り、昨年の第104回全国高等学校野球選手権大会（令和4年・阪神甲子園球場）で下関国際（山口県）を決勝で破り東北勢初の日本一に輝いた。また、招待試合直前の第95回選抜高等学校野球大会（春のセンバツ・令和5年・阪神甲子園球場）でベスト8に勝ち進んだ全国屈指の強豪校である。

試合当日は雨がザーザーと降りしきる中、選手、関係者による懸命のグラウンド整備が行われていた。OB各位も大勢かけつけ、保護者、学校関係者、高校野球ファン約800人がスタンドから試合開始を今か今かと見守った。

予定より45分ほど早い9時16分に、松商はエース大塚が先発、仙台育英は昨年夏の甲子園決勝でも2年生として出場したエース高橋と尾形のバッテリーで第1試合が始まった。主力同士で臨んだ試合は終盤まで僅差で競り合う展開の中、1点を追う8回裏、鈴木（3年）山岸（3年）のタイムリーで逆転。



だが、最終回に猛攻を浴び4-10で敗れた。引き続き行われた第2試合は2-0で勝利

松商学園高等学校硬式野球部
創部110周年記念招待試合



日時 2023年4月15日（土）
第一試合 10:00 第二試合 13:00
会場 セキスイハイム松本スタジアム
主催 松商学園高等学校



松商学園高等学校硬式野球部 「創部 110 周年」



した。
試合後には両校の選手、関係者に記念品として
両校名を記したマグカップが贈られた。
過去にも創部〇〇周年記念招待試合は行われ
た。

創部90周年（平成15年（2003）5月25日）

広陵高校（広島県）

第1試合 松商 1―5 広陵

第2試合 松商 4―2 広陵

創部100周年（平成25年（2013）5月26日）

早稲田実業学校（東京都）

松商 4―6 早稲田実業学校

慶應義塾高校（神奈川県）

松商 4―6 慶應義塾高校

おわりに、今回の創部110周年記念招待試合に
関わった多くの学校関係者、小林部長、松宗監
督をはじめとする指導者と保護者、OB会、遠
路はるばるお越しいただいた仙台育英学園高等
学校、そして試合当日泥だらけになってグラウ
ンド整備を行ってくださった球場関係者、選手
一同に心より感謝申し上げます。



仙台育英学園高等学校 （宮城県仙台市）	学校名	松商学園高等学校 （長野県松本市）
1905年（明治38年）	学校創立	1898年（明治31年）
1930年（昭和5年）	野球部創部	1913年（大正2年）
15回	全国選抜出場回数	16回
29回	全国選手権出場回数	37回
	戦績	
準優勝1回（2001年）	（全国選抜）	準優勝2回（1926年・1991年）
優 勝1回（2022年） 準優勝2回（1989年・2015年）	（全国選手権）	優 勝1回（1928年） 準優勝1回（1924年）
優 勝2回（2012年・2014年）	（明治神宮）	優 勝1回（1985年） 準優勝2回（1924年・1984年）
優 勝1回（2012年）	（国体）	優 勝1回（1991年）



令和4年度事業報告

●1月6日	練習はじめ(松商グラウンド)
1月8日	必勝祈願祭(筑摩神社)
1月	松商野球部OB会総会・新年会 (新型コロナウイルス感染拡大のため書面議決)
●3月	父母会主催 3年生を送る会(中止)
28日	松商野球部OB会役員会 (松本市勤労者福祉センター)
●4月～6月	松商野球部OB会会報編集委員会(中止) ・昨年同様に会議はすべて中止し、メール 審議で編集
●5月～9月	マスターズ甲子園長野大会参加
●5月	中信地区高等学校OB連盟定期総会(中止)
●6月	松商学園硬式野球部 部長・監督・スタッフ激励会(中止)
●7月	松商野球部後援会総会(中止)
●8月29日	松商野球部OB会会報(第8号)発行
●9月	松商野球部OB会役員会 (松本市勤労者福祉センター)
●10月5日	松商野球部OB会総会・新年会開催を決定 (2023・1・21ホテルエナピスタ)
●11月20日	中信地区高等学校OB連盟定期総会(中止)
●12月28日	マスターズ甲子園長野県大会準決勝 対佐久長聖 3対6で負け 第3位
●1月5日	中信地区高等学校OB連盟ゴルフ大会(安曇野CC)
●1月16日	松商野球部OB会役員会(清水ヶ丘会館)
●1月14日	中信地区高等学校OB連盟野球大会 16名参加 優勝
●1月12日	・1回戦 対深志・大町・田川連合 12対5 勝
●1月10日	・2回戦 対県ヶ丘 12対3 勝
●1月8日	・決勝戦 対梓川 9対6 勝
●1月6日	マスターズ甲子園本大会(甲子園球場)
●1月4日	・2日目の第3試合で和歌山県代表と対戦 (選抜された2名参加)
●1月28日	松商野球部OB会役員会(清水ヶ丘会館)

お悔やみ



長年OB会役員としてご尽力いただきました故宮川昇様（68回）は会計監査の任を終えた後、侵された病が急激に悪化しお亡くなりになりました。

松商の試合ではネット裏スタンドで選手に熱い視線を送り続け、OB会役員としても献身的に支えていただきました。

生前のご支援・ご協力に感謝申し上げます。心からご冥福をお祈りいたします。

松商野球部OB会役員

[illegible]

◆あとかぎ◆

今年、松商学園硬式野球部は大正2年（1913年）創部から110周年を迎えました。

松商野球部OB会の始まりは、大正9年に始まる全国大会出場から多くの有力選手を大学に送るようになり、その選手たちが中心となって直接、間接的に後輩の指導に当たり、昭和2年に「松商倶楽部」の名前が現れたところからだそうです。

先人の方々が、自分のため、仲間のため母校の榮譽のため常に楽しく、血の滲む様な努力も積み重ね、高校野球史に数々の輝かしい栄光を築いてくれました。卒業後もそれぞれの社会の中で、全てのOB会員が松商ナインの誇りを持ち、光輝いて活躍されている姿に力と勇氣と自信が満ち溢れています。そして後輩の力となり心底応援し続けています。松商野球部の伝統とはOB会員一人ひとりが「松商魂」の熱い思いを持ち続けて行動しているからこそその結晶だと思っています。

第9号も「創部110周年記念号」として絶大な協力者であり続けていただくための情報源として楽しめる会報となったと思います。

会報発刊にあたりまして、協力いただきましたすべての方々に心より感謝いたします。

最後になりますが、会員各位の益々のご活躍をご祈念申し上げあとがきとさせていただきます。

松商野球部OB会
幹事長 横山 正志

松商野球部OB会報
(Vol. 9)

発行日 令和5年6月30日
発行者 召田三博
編集 OB会報編集委員
横山正志(75回)
太田浩行(75回)
伊藤昌志(81回)
圓山 徹(83回)
小口卓哉(88回)
堤 良一(92回)
関谷将宏(107回)

印刷 (有)花岡印刷